

新潟県の地震概況 令和 7 年 (2025 年) 5 月

令和 7 年 6 月 12 日

新潟地方気象台

【5月の地震活動概況】

この期間、県内の震度観測点で震度 1 以上を観測した地震は 2 回（最大は震度 2）でした。このうち、新潟県とその周辺（図 1）で発生した地震で、県内で震度 1 以上を観測した地震は 1 回でした。（「期間内に発生した主な地震」を参照）

【5月に新潟県周辺で発生した地震】

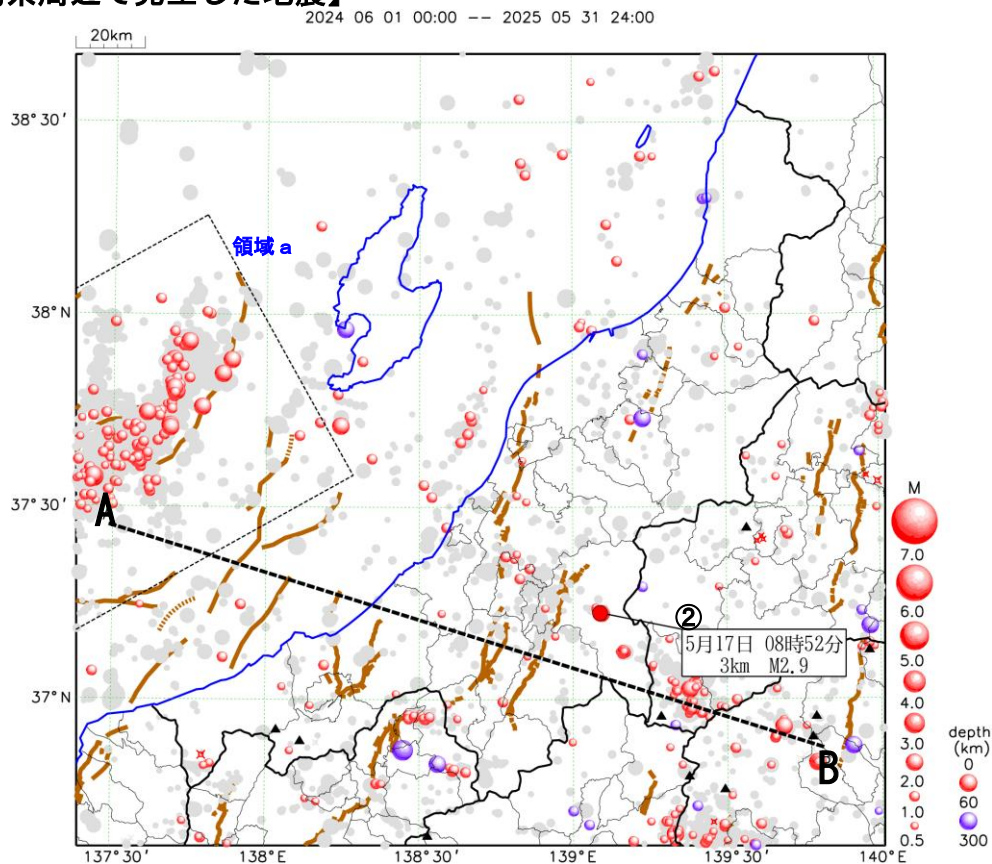


図 1 震央分布図（深さ0~300km、M0.5以上）

※過去 1 年間の地震を表示。令和 7 年 5 月に発生した地震を赤又は青、それ以前はグレーで示した。

※図中の茶色線は地震調査研究推進本部で長期評価されている活断層を示す。

※図中の▲は活火山を、✕は深部低周波地震を示す。

※領域 a は令和 6 年能登半島地震の活動域を示す。

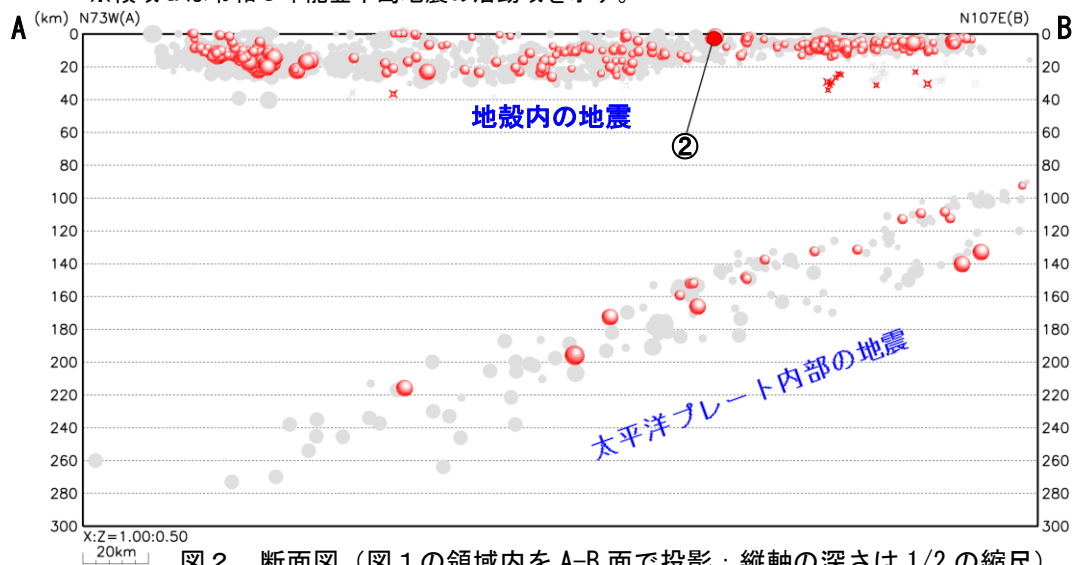


図 2 断面図（図 1 の領域内を A-B 面で投影：縦軸の深さは 1/2 の縮尺）

【期間内に発生した主な地震】

- ① 13日10時37分 福島県中通りの地震 (M4.6、深さ79km) により、福島県、茨城県、栃木県で震度3を観測したほか、東北地方、関東地方及び新潟県で震度2～1を観測しました。新潟県内では長岡市で震度1を観測しました。この地震は太平洋プレート内部で発生しました。
- ② 17日08時52分 新潟県中越地方の地震 (M2.9、深さ3km) により、新潟県魚沼市で震度2を観測しました。この地震は地殻内で発生しました。

○令和6年能登半島地震

石川県能登地方では、2020年12月から地震活動が活発になっており、活動当初は比較的規模の小さな地震が継続する中、2024年1月にM7.6の地震が発生しました。M7.6の地震の活動域では、地震活動が低下してきているものの、依然として継続しています。

5月中の最大規模の地震は、9日13時34分に発生したM4.2の地震（最大震度2）です。震度1以上を観測した地震は8回^(注1)で、その内、新潟県内で震度を観測した地震はありませんでした。

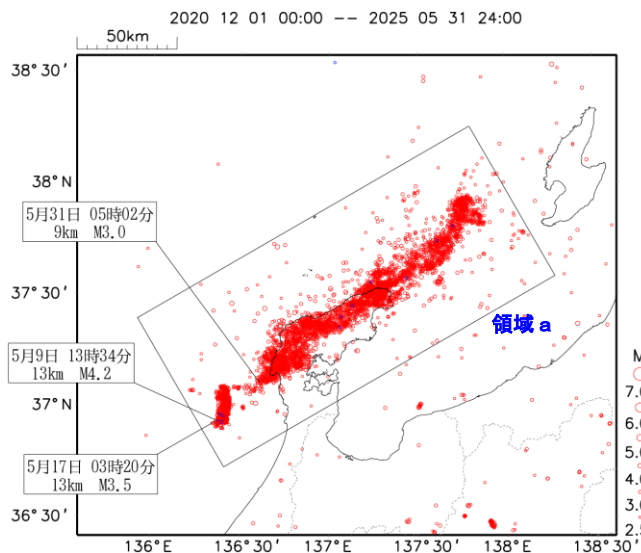


図3 震央分布図（深さ0～30km、M2.5以上）

- ・ 図3の吹き出しは2025年5月に発生した、最大震度3以上の地震又はM3.5以上の地震
- ・ 図4の左側縦軸はマグニチュード、右側縦軸は地震の積算回数
- ・ 2020年12月～2025年4月に発生した地震を赤色、2025年5月を青色で示した

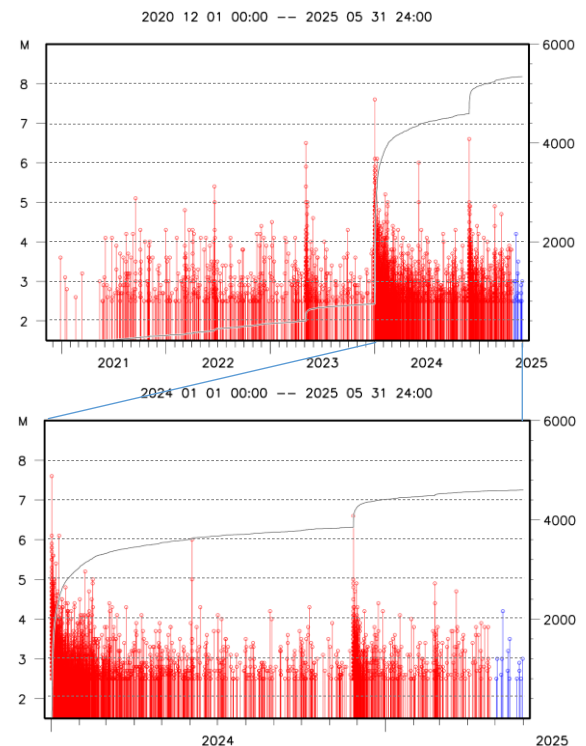


図4 図3の領域a内の活動経過図及び回数積算図

注1) 震度1以上を観測した地震の回数は、後日の調査で変更する場合があります。

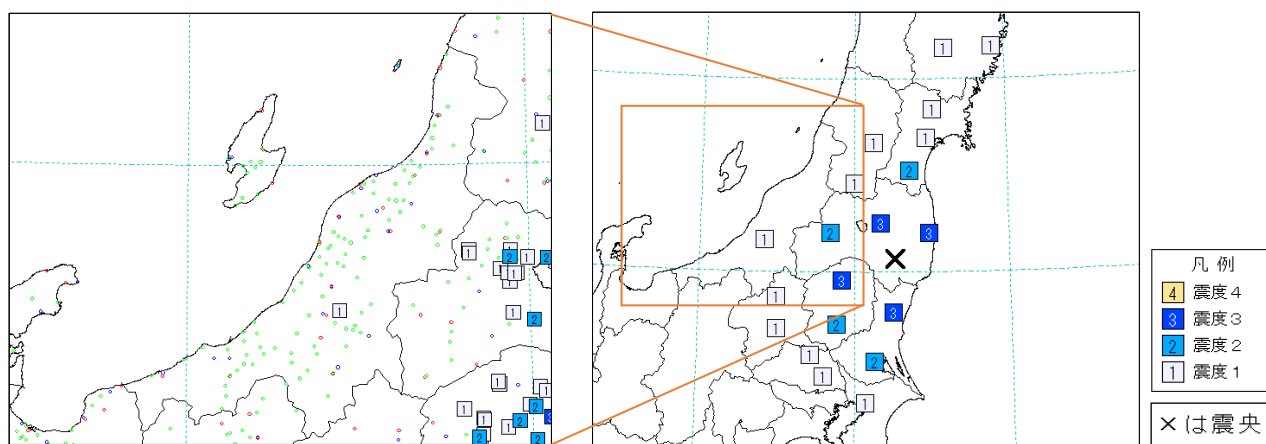
【新潟県内で震度 1 以上を観測した地震】 期間 2025 年 5 月 1 日～2025 年 5 月 31 日

地震の発生日時（年/月/日/時:分）	震央地名	緯度	経度	深さ	規模	全国最大震度
各地の震度　＊は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点						
① 2025年05月13日10時37分	福島県中通り	37° 08.2′ N	140° 31.1′ E	79km	M4.6	3
震度　1：長岡市山古志竹沢＊						
② 2025年05月17日08時52分	新潟県中越地方	37° 13.5′ N	139° 05.3′ E	3km	M2.9	2
震度　2：魚沼市下折立						
震度　1：魚沼市今泉＊, 魚沼市須原＊						

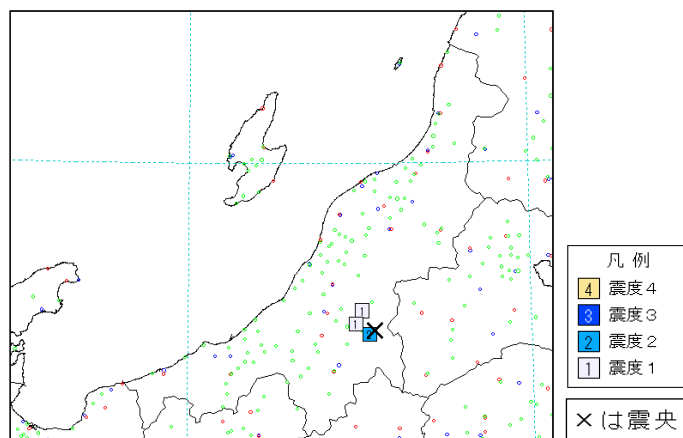
【震度分布図】

図中 ○ は震度観測点を示す

① 13日10時37分 福島県中通り
観測点別震度分布図



② 17日08時52分 新潟県中越地方
観測点別震度分布図



【新潟県内で最大震度 1 以上を観測した月別・震度別地震回数表】

年	2024 年							2025 年					
月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	合計
震度 1	6	6	2	0	3	6	4	1	1	3	4	1	37
震度 2	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	3	1	8
震度 3	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	4
震度 4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
震度 5 弱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
震度 5 強	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
震度 6 弱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8	7	3	0	3	7	4	3	2	4	7	2	50

【過去の地震・津波災害から学ぶ】

- 2024 年は新潟地震から 60 年、新潟焼山火山災害から 50 年、平成 16 年 (2004 年) 新潟県中越地震から 20 年という、災害の発生から節目の年でした。県内に「防災・減災 新潟プロジェクト 2024」が立ち上がりしました。 <https://www.hrr.mlit.go.jp/project2024/>

気象台ではこの活動に参加し、取組の一つとしてこれらの特設サイトを開設し、皆様にご利用いただいておりますが、プロジェクトが総括され気象台の取組も終了しました。

なお、作成しておりましたサイトは、引き続き皆様にご利用頂きたく、別途入口を設けました。

過去の大災害から学び、日頃から地震や津波、火山噴火への備えを心がけると共に、防災教育等にもご活用ください。

https://www.data.jma.go.jp/niigata/menu/2024project/2024project_link.html

【令和 6 年能登半島地震の各種資料】

- 令和 6 年能登半島地震の関連情報

関連報道発表等の地震関連情報の他に、被災地向けの気象支援資料なども掲載されています。

https://www.jma.go.jp/jma/menu/20240101_noto_jishin.html

令和 6 年 1 月 地震・火山月報 (防災編) に特集ページとして掲載されています。

<https://www.data.jma.go.jp/egev/data/gaikyo/monthly/202401/202401index.html>

令和 6 年能登半島地震の地震活動と防災事項ポータルサイト

<https://www.data.jma.go.jp/kanazawa/shosai/notojishinportal.html>

注) 利用にあたって

- 資料は速報であり後日の調査により変更されることがあります。
- 新潟県内で震度 1 以上を観測した地震の一覧表の震度は、県内のみを記述しています。
また、最大震度は、県内または県外での値を記述しています。
- 気象庁では地震の震源、マグニチュード等を算出するにあたり、国立大学法人などの関係機関から地震観測データの提供を受け (注 1)、文部科学省と協力して処理を行っています。
また、震度の情報は、地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供された観測データを含めて発表しています。

(注 1) 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点 (河原、熊野座)、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点 (よしが浦温泉、飯田小学校)、EarthScope Consortium の観測点 (台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東) のデータを用いて作成しています。

- この地震概況は新潟地方気象台ホームページの地震解説資料・地震概況のページに掲載しています。
https://www.data.jma.go.jp/niigata/jishin/jishin_kaisetu_index.html
- 資料についての問い合わせ先：新潟地方気象台電話：025-281-5872

【地震・津波一口メモ】

6月18日に緊急地震速報の訓練を行います ～自分の命を守るためにご参加ください～

内閣府(防災)、総務省消防庁、気象庁では緊急地震速報の全国的な訓練を実施します。緊急地震速報は見聞きしてから強い揺れに襲われるまでの時間がごくわずかであり、その短い間に、慌てずに身を守る等の防災対応をとるためには日頃からの訓練が重要です。

この機会に身を守る行動を体験してください。

1. 訓練実施日時方法

令和7年6月18日(水)10時00分頃

(気象庁からの訓練用緊急地震速報の配信時刻)

- ・市町村等が実施する防災行政無線の放送
- ・行政機関の建物等における館内放送
- ・専用受信端末を整備された施設の報知

※気象・地震活動の状況等によっては、訓練用の緊急地震速報の配信を急きょ中止する場合があります。

2. 訓練の内容等

訓練に参加される方は、訓練用の緊急地震速報を見聞きしたら、まわりの人に声をかけながら「周囲の状況に応じて、あわてずに身の安全を確保」しましょう。

なお、訓練用の緊急地震速報は、テレビ・ラジオ(一部のコミュニティFM等を除く)等の放送や、携帯電話・スマートフォンの緊急速報メール、エリアメールには流れません。

訓練方法等の詳細については、以下の気象庁HPをご覧ください。

- ・緊急地震速報を活用した訓練について

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eeew/data/nc/kunren/kunren.html>

○震源を推定し揺れの強さを予測

地震発生後、震源付近の少ない観測点のデータを元にできる限り早く震源やマグニチュード(M)を推定します。その震源とマグニチュード(M)を元に、各地点の揺れの強さ(震度と長周期地震動階級)と到達時刻を予測します。

○シェイクアウト訓練について

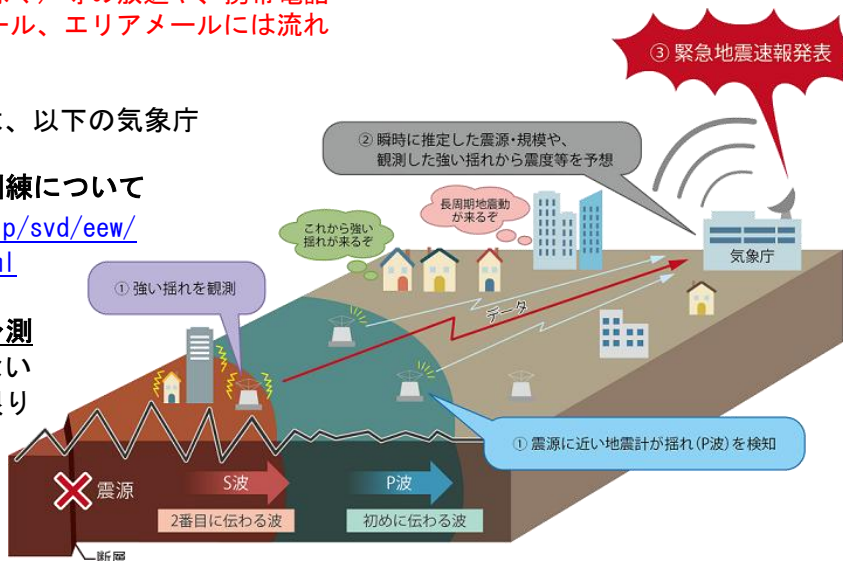
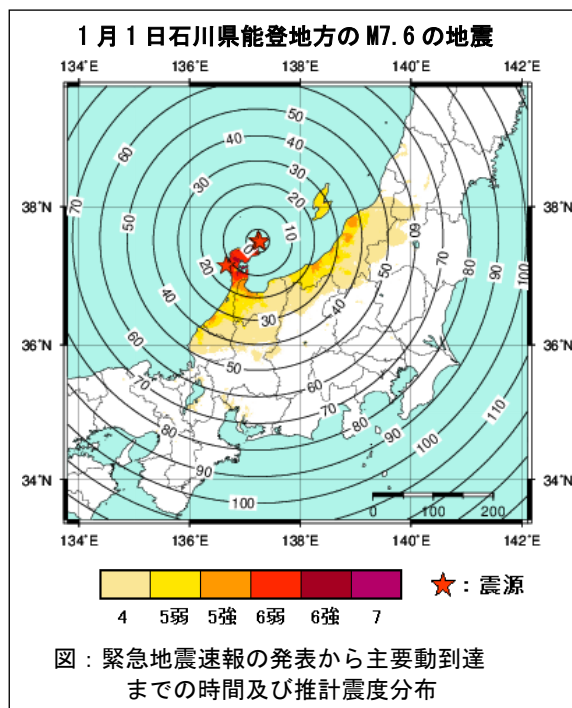
いざという時にすばやく反応するためには頻繁に練習を積んでおく必要があります。

地震発生時、激しい揺れに襲われるまで、または何かが落下してくるまで、自分の身を守るためには数秒の猶予しかないかもしれません。

「効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議(Shakeout 提唱会議)」は、訓練に合わせた全国的なシェイクアウト訓練の実施について呼びかけを行っています。 <https://www.shakeout.jp/>

※緊急地震速報の訓練は、新潟県及び各市町村の防災訓練等でも実施する事があります。

緊急地震速報を見聞きした場合、どのように身を守る行動をとるのか、日頃から考えておきましょう。



DROP!



COVER!



HOLD ON!

イラスト: 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議